

令和7年 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰

受賞者
紹介

緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰とは、緑化推進運動の実施について、顕著な功績のあった個人又は団体に対し、内閣総理大臣が表彰を行うものです。

令和7年は13の個人・団体が受賞されました。本誌では毎号、受賞者の方々をご紹介します。

かみさんみや
喜多方市立上三宮小学校 (福島県喜多方市)

同校は、「花いっぱい笑顔いっぱいの上三宮」をスローガンとして、公共施設への花苗提供や花壇整備を通じた地域貢献活動に取り組んでいます。

児童が種から育てた花苗を地域に届けるほか、図工での花びら活用や校内の落ち葉を活用した堆肥づくりなど、自然に触れる活動を通して児童の植物を大切に作る心が育まれています。これらの活動は全校一丸となって行われ、学年を越えた交流や、児童一人一人の緑化意識の醸成に貢献しています。また、地域の道路沿線での花壇整備活動は、児童と地域住民が協力して行っており、地域の交流促進にもつながっています。

※活動ウェブサイト <https://kitakata.fcs.ed.jp/kamisanmiya-es/>



児童の皆さん



公共施設への花苗提供



地域住民との花壇整備活動

ひ おきよしゆき
日置佳之氏 (鳥取県鳥取市)

日置氏は、鳥取大学教授としての豊富な専門知識と経験を基に、鳥取県及び岡山県を中心に自然環境の保全・再生や生物多様性向上を目的とした調査・研究活動等を実施し、地域の緑化推進に取り組んでいます。

その成果は、大山・蒜山地域などの草原・湿原の再生計画に活用され、また、同氏は「蒜山自然再生協議会」の会長として、市民参加型の再生計画の実践手法を確立し、各地で展開しています。さらに、他団体が実施する自然再生プロジェクトへの協力や野外活動での指導を通じた人材育成も積極的に実施しており、地域の緑化活動のみならず緑化意識の醸成や人材育成にも貢献しています。

※活動ウェブサイト(蒜山自然再生協議会) https://i-maniwa.com/area/nature_res_2022/



蒜山自然再生プロジェクト参加者の皆さん



湿原再生のための整備活動



参加者の交流

過去の受賞者については林野庁ウェブサイトをご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson_ryokka/hyosyo/index.html

